



読者訪問

当社取引先の方をはじめ、読者の方にご登場いただき、ご紹介させていただきます。

第179回

株式会社藤本製作所

オーダーメイドが強みです

～医療用ステンレス機器の製造技術を活かして～

会合などで以前から何度も会っているのに、どこでどんな仕事をしてられるのかよく知らないという人、周りにいらっしゃいませんか？

Q-infoの継続読者リストを見ていてふとそんな気がした藤本さん。ネットで調べて見たら弊社から車で20分ほどのところでステンレスの板金加工をなさっておられるとか。どんな工場でどんなものを作っておられるのか…。ということでお邪魔してきました。



藤本社長

医療用ステンレス機器からワゴン、雑貨まで

同社は1956年(昭和31年)真鍮製の医療用トレーを作るところから始まり藤本さんは3代目の社長になります。創業期は真鍮加工が中心でしたがメッキ処理での法的制約が厳しくなったことなどからステンレス加工に切り替え、医療用のトレーやカストと呼ばれる小箱、ワゴンなどを医療器具や機器を扱う商社のOEM下請けとして作ってこられました。



ステンレスは鉄と比べると3～4倍ほど高価ですが錆びにくく光沢があることから、医療、美容、食品関係などからの需要が多く、同社では医療用のステンレス製品に特化して来られました。しかしながら、薬害エイズ問題が発生した頃から医療器具の使い回しが出来なくなり、主力製品のカストと呼ばれる小箱の需要が減ってきたことと、得意先の1社が廃業したことなどもあり、ステンレスワゴンを中心とした直販体制に注力するようになります。

直販体制と言っても、ステンレスワゴンは家庭用から業務用まで多くの製品が出回っています。それらのほとんどは組み立て式のものが多く強度もあまりないことから、溶接した完成品として強度があり壊れにくいもの、そしてサイズや形状もオーダーメイド対応できるものとして差別化を図りました。その結果、重量物を載せる食品工場や高級感を重視する美容室などからの注文が増えました。最近ではHPからの引き合いがかなり増えてきたそうです。

100年企業を目指して



オーダーメイドを武器にステンレスワゴンのみならず、ステンレス製の小物入れなどの雑貨などにも力を入れ、インテリアからワゴンまで、自分だけのオリジナル商品を提供出来るメーカーとしてアピールしておられます。

今後は取り扱ってくれる商社を増やして販売増を図り、あと2年で70周年を迎えるのを機に100年企業を目指して頑張っていきたいと力強くおっしゃっていました。

汎用品での価格競争を避け、数センチ単位でオーダー製作でき組立不要の強度を持った完成品で提供することを強みとして、更なる業績の向上を図って行かれることを祈念いたしております。(米田)

会社概要

株式会社藤本製作所

Profile

お話を伺った方

会社の所在地

電話番号

事業内容

HP

代表取締役 藤本 伸治 様

〒613-0031 京都府久世郡久御山町佐古外屋敷 91-2

TEL 0774-43-0491 FAX 0774-43-2347

ステンレス板金加工

https://fujimoto-ss.com/



編集後記

ワールドシリーズに出て優勝したいという夢を叶えられる環境を求めてドジャースに移籍した大谷翔平選手。50-50(1シーズンに50本塁打以上と50盗塁以上を同時に達成)などの偉業を成し遂げ、チームは見事ワールドシリーズ優勝を勝ち取りました。明確な夢を追い求めてそれを成し遂げた喜びは想像に難くないと思うと共に、目標に向かって突き進む姿は私たちに感銘を与えると共に自分自身への叱咤激励にもなりました。

[Sys:port]. シスポート株式会社

〒610-0361 京都府京田辺市河原平田23-16

Tel.0774-63-1131(代) Fax.0774-63-1130

https://www.sysport.co.jp



【シスポート】情報提供機関誌

info
キューインフォ

このQ-infoは、お取引先様をはじめシスポートスタッフがいろいろとお世話になっている方、Replyシートで購読のご希望をいただいた方、シスポートスタッフが最近名刺交換をさせていただいた方などにお送りしております。

ご意見、ご感想や送付の要否などは添付のReplyシート(QRコードからのWebフォーム)でお聞かせ下さい。

2024年12月発行

第204号

SINCE 2008.1



こんにちは。管理部の眞田です。

最近、思うことがあります。

『なぜ電化製品は故障の連鎖が発生するのか』ということです。先月、自宅で使用している除湿器が故障したので近所の電気屋さんで修理手続きをしに行こうとした矢先、次はリビングのエアコンが故障しているようで、10分程度動かしたら送風しなくなり…

その数日後、IHクッキングヒーターから異音が出だして…

幸い除湿器については購入時に長期保証に加入していたので、先日追加料金なしに修理完了してきました。

ほんとに長期保証がある物は有りがたいです。

しかし残りは家を建てた時に購入したもので、お値段的にも一気に入れ替える事は難しく、完全に壊れる前にどれを修理するか、もしくはどれを優先的に入れ替えるのかを検討しないといけません。

エアコンもIHクッキングヒーターも10年以上働いてくれているので故障するのも仕方ないとは思いますが同じタイミングは勘弁してほしかった…(;▽;)

今月は各電気屋さんも年末に向けてセールをやってくれるでしょうからそれを期待して今月を過ごしたいと思います。

(管理部係長 眞田 恭平)

“一丁囃”が行く!



年賀状を取りやめるとの案内が多く寄せられてきています。地球環境への配慮か、郵便代金値上げによる経費削減なのか、理由はいろいろかと思いますが、廃止傾向は高まっています。

皆様のところでは如何なさいますか？

弊社は毎年、数百通の年賀状をお送りしておりますが、それら廃止の案内を見るたびにどうしようかなと思うところです。ただわたし個人的には、毎年皆様からいただく年賀状を見るのが楽しみなところもあり、すぐに廃止というわけには行かないなとも思っております。特に個人の年賀状は、生存確認の意味もあり、あともう少しだからと続けていこうと思っています。

ま、しかし、来年、会社宛にいただく年賀状はかなり減るのではないかと考えています。

年賀状はどちらでも良いですが、請求書は出さないわけにはいきません。そこで、これも経費や手間の削減からか、電子データで送るところが増えて来ました。お客様からもPDFで送ってとの依頼も増えてきています。

昨今は郵便配達的环境が変わったのか、配達日数がかかるよ

第189回：年賀状廃止

うになりました。早く欲しいのでとりあえずPDFで送ってといわれるところも少なくありません。

請求書を電子化して送れるソフトのコマーシャルが頻繁に流れていますが、当社では販売管理ソフト『はんばいQ』のオプションとして請求書等をPDF化して予め登録したアドレスに自動で送ることができる『メールオクルン』というのをリリースしております。

お陰様で多くのお問い合わせとご用命をいただいております。

これは取引先マスターに送り先のメールアドレスと、メールに記載する送付挨拶文を登録しておき、請求書発行時に自動的に請求書のPDFファイルをメールに添付して送るというものです。

年賀状もメールかLINEで来る時代、ペーパーレス化はますます進んで行くのでしょうか。

ペーパーレス化は決して悪いことではないと思いますが、歴史的に培われてきた文化や伝統というものも忘れないようにしたいものですね。

(一丁囃)

お願い

Replyシートの回答をお願いします。本誌を紙ベースでお送りしている方には、紙ベースのReplyシートを添付しております。また、メールでお送りしている方にはメール本文に記載しています。

また、右のQRコードから回答できるようになりました。皆様方のご意見、ご意向などをお聞かせ下さい。



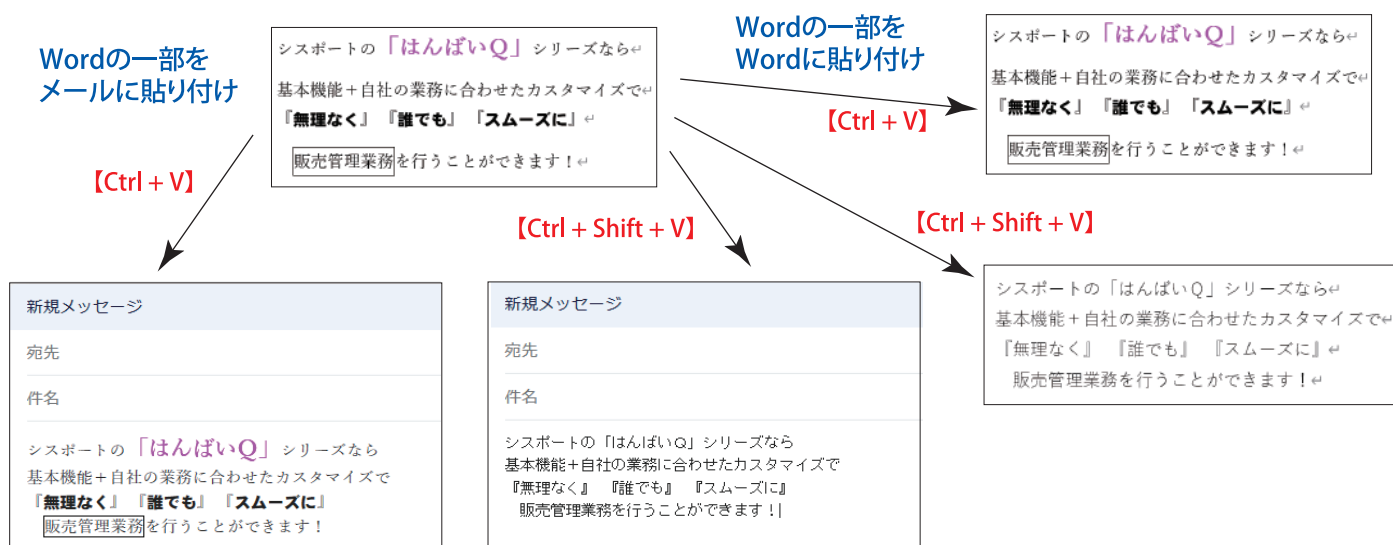
皆さんは作業していてWebやWord、Excelなどから文章をコピーする際、コピー元の書式や背景の色も引き継いで貼り付けられてしまうことに不便を感じた事はありませんか？

「一旦メモ帳などに貼ってリセットしてからWordに貼り付け」みたいなことをされている方もいらっしゃるのではないかと思います。今回ご紹介するのはそんな書式をリセットして貼り付けることができるショートカットキーです。

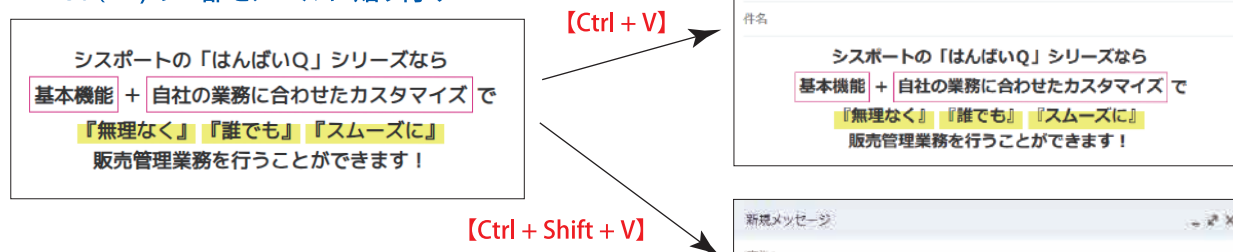
通常通り書式情報をそのまま貼り付けする場合は、【Ctrl + V】

書式情報を解除して貼り付けする場合は、【Ctrl + Shift + V】(アプリによってはShiftがAltの場合も)

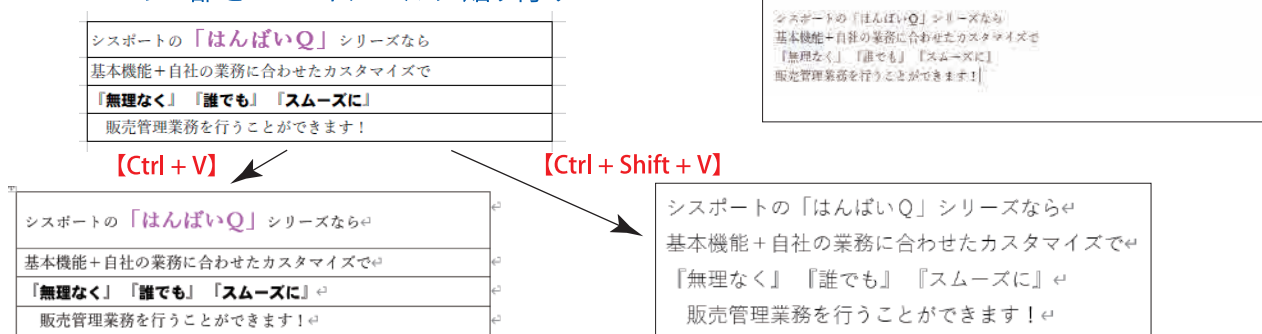
このように通常の貼り付けキーにShiftを加えるだけで書式が簡単にリセットされます。ぜひご活用ください！



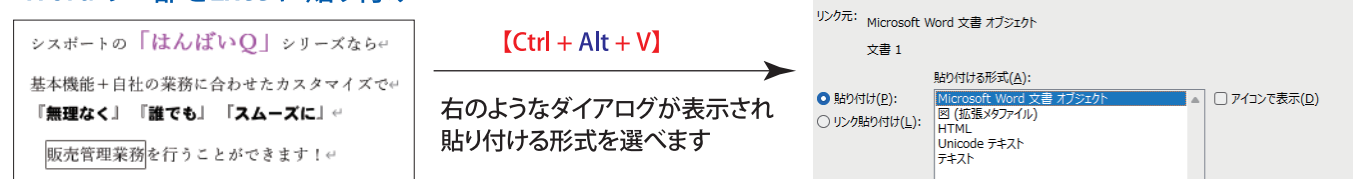
Web (HP)の一部をメールに貼り付け



Excelの一部をWordやメールに貼り付け



Wordの一部をExcelに貼り付け



デバイス監視ツール



のご紹介

MiTRA LiNKとは

MiTRA LiNKは、IT機器の情報を収集・分析・通知する、クラウド型デバイス監視ツールです。複雑化するIT機器の管理を見える化・効率化することで、人材不足を補い、業務停止リスクの軽減に寄与します。監視対象機器数に応じたサービス利用プランをご用意しており、初期費用を抑えたスモールスタートが可能です。

このような課題を解決



- ・マシントラブル時の対応ができない
- ・機器の点検ができていない
- ・情報システム部の人員が不足している

MiTRA LiNKで
まると解決



- ・機器の情報を常に監視し、トラブルを未然に防止
- ・点検や整備にかかる時間やコストを削減
- ・少人数でも多様な機器から情報収集

MiTRA LiNKの特長

クラウド対応



- ・AWS上でシステムを提供することにより、リアルタイムで監視可能
- ・初期費用を抑え、スモールスタートが可能

エージェントレス



- ・各監視対象端末へのインストールが不要
- ・専用のPCやサーバが不要で初期費用を低減

簡単操作/豊富な通知機能



- ・メールやチャットツールへの即時通知が可能
- ・操作性がよく、なじみやすいユーザーインターフェース

多様な機器監視



- ・メーカーを問わず機器の監視が可能
- ・どの端末からでも機器情報を確認できる

お問い合わせ

株式会社たけびし 情報通信システム部

075-325-2177

もしくはホームページ から

<https://doc.mitralink.cloud/>

この **Information corner** に告知や広告などを掲載しませんか？
原稿をお寄せいただいたら無償で掲載させていただきます。
イベントの告知、自社商品の宣伝など、このコーナーをご利用下さい。

無料掲載